

ヨコ顔 会員が順次登場します

裕美ちゃん

2020年コロナ禍の三密回避の出前授業から環境部門を担当し、はや5年間になります。はじめて会ったと思えないほど自然な会話、この笑顔に子供たちが自然に集まってくる。ずーと傍にいたいようなお姉さん。とはいえ、愛車で国内外どこへでも、頼りになるドライバー、プロ級の料理研究家・・・知るほど、いろいろな特技を見せてくれます。忙しくても愛妻弁当は欠かさず作り、周りの友達から「あなたのような妻が欲しい！」なんて告白も。今年はSDGsボックスを子供たちに手渡し、大活躍。スムーズな授業進行に絶えず気を配るアイデアガールです。(昌子)



2024秋～2025春 主な行事予定

ゴミ拾いウォークの集合場所は「ホタルの里」です。
終了後、現地解散（右上の地図参照）
土曜朝の散歩をかねて、どなたでも気軽にご参加ください。

- | | | |
|-----------|---|------------------|
| 24/09/28 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 24/10/26 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 24/11/09 | (土) ESD事業 折戸川 GOMI 拾い大会
10:00:00～11:30 (10月広報で募集します) | |
| 24/12/28 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 25/01/25 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 25/02/22 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 25/03/08 | (土)09:00～10:00 | ゴミ拾いウォーク |
| 25/03/中下旬 | | 幼虫放流会(2月広報で募集予定) |

2025年度の予定はHPでご確認ください



初ボタルは5月5日。折戸川本流には10日過ぎから、天然ゲンジボタルが先に飛び、地図の黄色く塗られた折戸西橋～野方神明社(約1km)に100頭(匹)前後、優雅に飛んだ。ホタルの里はヘイケが乱舞、ゲンジも5月20日過ぎから6月初めまで飛んだ。

応援団(会員)募集中 年会費 1000円

(義務は発生しません)

お近くの会員に声をかけてください。

ホタル便りをお届けします

【連絡先】折戸川にホタルを飛ばそう会

代表:後藤和正 TEL0561-72-3158

編集 後記

人の出会いにピントを合わせて

ホタルの会をカメラから見ています。イベントがあると必ず集まり、仕事人のごとく、それぞれの役割を確実にこなし、参加者との出会いを楽しんでいる。それぞれの表情を見ていると小気味よく、私もファインダーを覗くのが楽しい。

その表情を切り取り表現したいと、カメラを向ける。こっちを向いて!! 笑って!!笑って!!

日本が、世界が、激しく変わりつつありますが、この町のホタルの光に導かれた小さな愛の出会いが明日への希望につながります様に。

レンズを通して浅岡光子

編集 長:土方博 (0561-72-2027)

PC編集:飯塚満智子

委員:昌子 光子 ひとみ

ホタルだより

from 折戸川にホタルを飛ばそう会

(愛知県日進市) 第22号:2024/10/1不定期刊行

市制30周年

折戸川にホタルを飛ばそう会
発足20周年



ほたるの空

作詞 大西 貴
作曲 真野 賢一

夏の夜にいちばん星がキラキラと 東の空に出るころは
折戸の川にピカピカとほたるがまーうーよー

ホーホーほたる来い あっちの水は苦いぞー
こっちの水は甘いぞー ホーホーほたる来い

撮影地 折戸川西橋付近 浅岡 光子 2024-5-25 20:30



ほたるの空

ありがとう ホタルさん!

～日進市民を代表して～

市の花・アジサイが咲くころ、折戸川でホタルに出会える時季がやってきます。市の昆虫は特に指定されていませんが、ホタルは「市の虫」と言ってもいいくらい、皆さんに愛され、大切にされていると感じています。暗がりの中、優しく温かみのあるホタルの光が飛び交う幻想的な風景には、誰もが心を奪われます。折戸川の清掃活動などで自然を保護し、ホタルを守り育ててこられた方々に心から感謝いたします。ホタルの生育には清らかな水や豊かな自然が必要なため、ホタルが「折戸川の環境が優れている」ことも教えてくれています。とても嬉しいことです。

さて、日進市は今年、市制30周年を迎えます。テーマ「たのしいをいっぱいつくる」のもと、未来を担う子どもたちが日々「たのしい」を感じられるまちを目指し、市民の皆さんが企画した手作りの事業などを行っていただき、魅力あるまちづくりを進めていただきます。折戸川にホタルを飛ばそう会さんも今年で20周年を迎えられるということですので、この記念すべき年が会の皆さんにとって、そしてホタルにとっても素敵な年となり、これからも輝き続けていかれることを心から願っています。ありがとう、ホタルさんたち!

日進市長 近藤 裕貴

3/13

幼虫放流会

にっしん ESD 事業

5/26

ホタル観賞会



このホタルが飛ぶ頃、
みんなは小学生！



僕たちもたくさん
放流したよ



「ホタルの一生と川的环境」をビデオで学習

ゲンジもヘイケも手にのせて観察 70 年前
の自由な蛍狩りの世界を少しだけ味わって
もらいたい！



ピカチャン大活躍！



子供たちが蛍狩りを楽しみ、
そのホタルが来年のための
産卵用ホタルになります



EC035（エコサング）

ホタル観賞会



本社ビオトープで自然発生したヘイケボタルが、5月14日から飛び始めました。多くの方が観賞できるように今年には従業員とその家族・知人を対象にホタル観賞ウォークを初開催しました。天候に恵まれ、平日の6日間で93名（大人74名、子供19名）が参加。ビオトープとホタル飼育ハウス周辺で50～60匹のホタルを観賞しました。参加者から「小さい体で一生懸命に光る姿を見て感動しました」などの感想があり、終了時間ぎりぎりまでホタルの飛び交う様子を眺めている子供もいました。（吉原義仁）

長久手みなみ里山クラブ

古代蓮で碧筒杯（へきとうはい）



7月26日にビオトープで半夏生の刈りと碧筒杯の催しを計画しましたが、連日の猛暑で刈り取作業は中止して碧筒杯だけ楽しみました。古代蓮は千葉県の二千年前の地層から種が出土し、大賀博士が発芽させ全国に広まり大賀蓮（おおがはす）と名付けられました。蓮の葉の中心から茎に穴を開け、酒やお茶、水等を葉に入れて茎の下から飲みます。なかなか風流で趣があります。各自好きな蓮を選び持ち寄った飲み物で大いに盛り上がりました。来年も是非ともやって欲しいと好評でした。（水野浩）

筋生まちづくり研究会

ヘイケボタル・除草剤に苦戦



川的环境は悪くはないと思うのですが、ゲンジボタルに苦戦。幼虫とエサ用の小さいカワニナも分けていただいた今シーズンは、飼育係佐々木さんの大奮闘もあって長く楽しむことができました。でも放流前に脱走されたり、準備したコケに卵を産まなかったり、なかなか次につなげることができません。ヘイケボタルは比較的飼いやすく、まとまった数を放流できるようになりましたが、畦管理に除草剤が使われる田んぼが増え、放流できる場所がじわじわ減少。川のゴミ拾いをしながら「どうしたものかいな」とやきもきする今日この頃です。（加藤志津香）

折戸川にホタルを飛ばそう会 発足 20 周年 応援ありがとう

2004.2.26日 折戸川にホタルを飛ばそう会は発足しました。翌年にはホタルの里に数頭（匹）が飛び、スマホのない時代、車で仲間に知らせ抱き合って喜びました。やがて“応援旗”を作ろうと言う声が出ました。デザインは仲間の一人、私と田中さんが営業を担当。主な会社を飛び込みで回り、協力頂いた5社（旗）と社名を出さない条件に資財提供もあり、感謝しかありません。

10年もすると折戸川本流にゲンジボタルが自然発生することが分かり、嬉しかった。少しずつファンが増え1日、数百人が訪れるようになり、夢のようです。翌年から始まった小学校への出前授業は日進市内ほとんどの小学校から要請があり、卒業生は13000人を超え、ホタルだけでなく環境への関心が高まりました。環境課主催のESD事業「ホタル観賞会」は定員を超える人気、行政の応援と多くのファンに囲まれ、折戸川にホタルが飛ぶようになりました。ありがとう。

（立ち上げメンバー： 土方 博・田中清彦・佐藤菊栄）



9日連続ホタルの里へ

触れる蛍に4歳息子は大喜び「明日も来ようね!」と8日目には随分詳しく、捕まえるのも上手になりました。飛び交う蛍と、嬉しくてたまらない息子を見て素敵な時間をすごしました。9日目は遂に家族4人揃ってホタルの里へ。今年は息子だけホタルの応援団に入りました。私たち夫婦も余裕ができたらかきっとホタルの会に入会します!

(M母)



夫に出逢えたあ〜

夫の月命日前夜、友人を誘ってホタルの里へ。ご主人がレスパイト(介護者休暇)入院中のMさん、初参加のYさんと3人組。乱舞する蛍に酔い、大盛り上がり。子供も大人も目を輝かせ優しさに溢れていました。足元あやうく支え合い、ウシガエルに励まされて。また来年も!

(あつこ)

思わず後ろからパチリ(高増)

ホタルに魅せられた人たち

光る飼育幼虫に興奮! 夜中の妄想チャット!

ナント!! 光る生物第一人者・中部大学大場裕一教授が疑問に答えてくれた!

【Q1】お尻にふたつ、まるで目ん玉の様に光っています😊😊😊 何処が光っているのか? 光る子と光らない子の違いは何か? 同じ条件の水槽でも、よく光る水槽と、余り光らない水槽があるのは何故か? 解明できない謎解き談義で盛り上がっています😊🌟

【A1】幼虫の発光は非常に気まぐれといいますが、我々もどういときに発光するのかわからないでいます。我々は実験室で遺伝子的に同一であるヘイケボタル集団を飼育していますが、やはり光る個体と光らない個体があります。光らない個体も、光ることができないのではなく、そのときは光っていなかっただけでなんらかの条件では発光すると思われます。

【Q2】ピカピカ🌟🌟生まれて1カ月で光ってる? 光は2本ありますねー! お尻に2つ光るところがあるのですか? 教えてください。水槽の中だと、仲間なのに、敵だと思って、「オラオラア〜どけどけ〜」って、歩いているのですかねえー

【A2】幼虫の腹部の第8節の両側に「発光器」があり、そこが光ります。この部分が光ることはホタル科全てに共通しています。これが蛹の段階で消失し、成虫が発光するゲンジボタルやヘイケボタルなどの種では、腹部第6節(オスでは第7節も)に新しく発光器ができあがります。

貝を食う幼虫は、夢中だからか、光っていません。可愛い❤️

私たちも、夜行性になっちゃいますね〜笑笑 今夜は一先ず寝ましょう 寝ましょう スゴい〜👍🍵🍵

にしんESD事業

GOM! 拾い大会

今年もやります!

日にち

場所

時間

2024.11.9(土) ホタルの里 10:00~11:30

◀ 家の周りや気になる所のゴミを各自で拾って、ホタルの里に集合。
◀ 折戸川沿いでは、子供たちが小さなたばこの吸いがらから大きなゴミまで大量ゲット。
笑顔はじける大会! 申し込み方法など詳しくは10月広報にしんをご覧ください(中川)

昨年の様子



気になる町のゴミを拾って最優秀賞ゲットしよう!



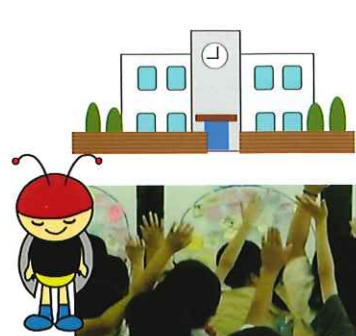
最優秀賞の表彰式



~近隣のご理解と皆さんの協力のおかげです!

たくさんの観賞者と近隣の生活道路の安全確保、今年も子供会のお父さんをはじめ有志延べ30名の協力をいただき、無事シーズンを終えることができました。頼もしい助っ人に感謝! ご近所のご理解あってこそそのホタルの里です。(三郎)





にっしんESD事業 小学校出前授業

ホタルの一生と川環境



👉**竹の山小 3年3クラス 109名** 今年最初の出前授業、体育館に響き渡る元気な声に感動です！！



私の関心は
気候変動です！



👉**梨の木小 3年4クラス 124名** 人にとってホタルって何？ どうしてホタルを育てたいと思ったの？
ディープな質問に答えるおじさんも真剣です！



僕たちが書いたゴミの分別ボード、
なかなかいいね！



海の豊かさを守ろう！



👉**東小 3年4クラス 108名**
SDGsの発表に、こんなに積極的な学校は初めてです！



👉**相野山小 3年2クラス 39名**
卵から生まれたばかりの幼虫まで“ホタルの一生”バッチリ！



コケに産み付けられた卵



👉**北小 3年3クラス 94名** マイクロプラスチックがいっぱいの海 もっと発言したかった！



👉**赤池小 3年5クラス 173名** とにかく集中力が素晴らしい！ はねの構造も見て！



👉**西小 3年4クラス 141名** 希望した4年生も幼虫のせて記念写真



師匠の説明を熱心に聞く
飼育一年目の若きホープ



折戸川に近い南小は
顔なじみ？



👉**南小 3年5クラス 163名** 冷房の効いた部屋は快適でした！

撮影 浅岡光子

951名の皆さん、今年も楽しい出会いをありがとう！

